

令和3年度 校内研究について

1 研究主題

自己を見つめ、自己や他者との関わりを通し、よりよく生きようとする子どもの育成
～「特別の教科 道徳」の授業づくりを通して～

2 主題設定の背景

本校の児童は、友達の良いところを見つけて伝えたり、友達に親切で優しく接したりすることのできる児童が多い。また、学級や学校で決められた仕事はきちんとすることのできる児童も多い。しかし、自分に自信がもてず失敗を恐れて物事に積極的に取り組むことができなったり、自分の利害にこだわることで、友達とトラブルを起こしたり、集団のために自ら働くことができなったりする児童も多く見られる。

そこで、道徳科の学習を通して、道徳的判断力や人間としてのより良い生き方を目指す道徳的心情を養い、児童自身の生活とつないでいきたいと考えた。

また、児童の実態と本校の教育目標「進んで考え 心豊かに たくましく生きる児童の育成」を受け、本校では道徳科の内容項目のうち、「A 希望と勇気、努力と強い意志」「B 友情、信頼」「C よりよい学校生活、集団生活の充実」の3点を重点目標に設定した。

本年度は、「自己を見つめ、自己や他者との関わりを通し、よりよく生きようとする子どもの育成～「特別の教科 道徳」の授業づくりを通して～」を研究主題として設定し、「自分の目標に向かって、粘り強くやり抜く子ども」「多様性を認め合い、助け合うことのできる子ども」「みんなで協力し合い、よりよい学級や学校を作る子ども」の育成を目指すこととする。

本年度は、「課題意識をもたせるための工夫」、「友達との関わりの中で、多面的・多角的に考えるための工夫」、「教材と自己をつなぐための工夫」という3つを研究の柱として授業に取り入れ、学習を展開していく。また、「温かい人間関係形成の素地づくり」と学習したことを意識できるような「環境づくり」も併せて取り組んでいくことで、道徳的な価値が児童自身の生活につながっていくのではないかと考える。

3 目指す児童像

A 主として自分自身に関すること

「希望と勇気、努力と強い意志」→ 自分の目標に向かって、粘り強くやり抜く子ども

B 主として人との関わりに関すること

「友情、信頼」→ 多様性を認め合い、助け合うことのできる子ども

C 主として集団や社会との関わりに関すること

「よりよい学校生活、集団生活の充実」→ みんなで協力し合い、よりよい学級や学校を作る子ども

※ 目指す児童像は、全体の目指す児童像を受けて、各学年部で児童の実態を考慮して目指す児童像を作る。

	A 希望と勇気、努力と強い意志	B 友情、信頼	C よりよい学校生活、集団生活の充実
低学年	自分のやるべきことをしっかりと行う子ども	友達と仲よくし、助け合う子ども	学級の生活を楽しむ子ども

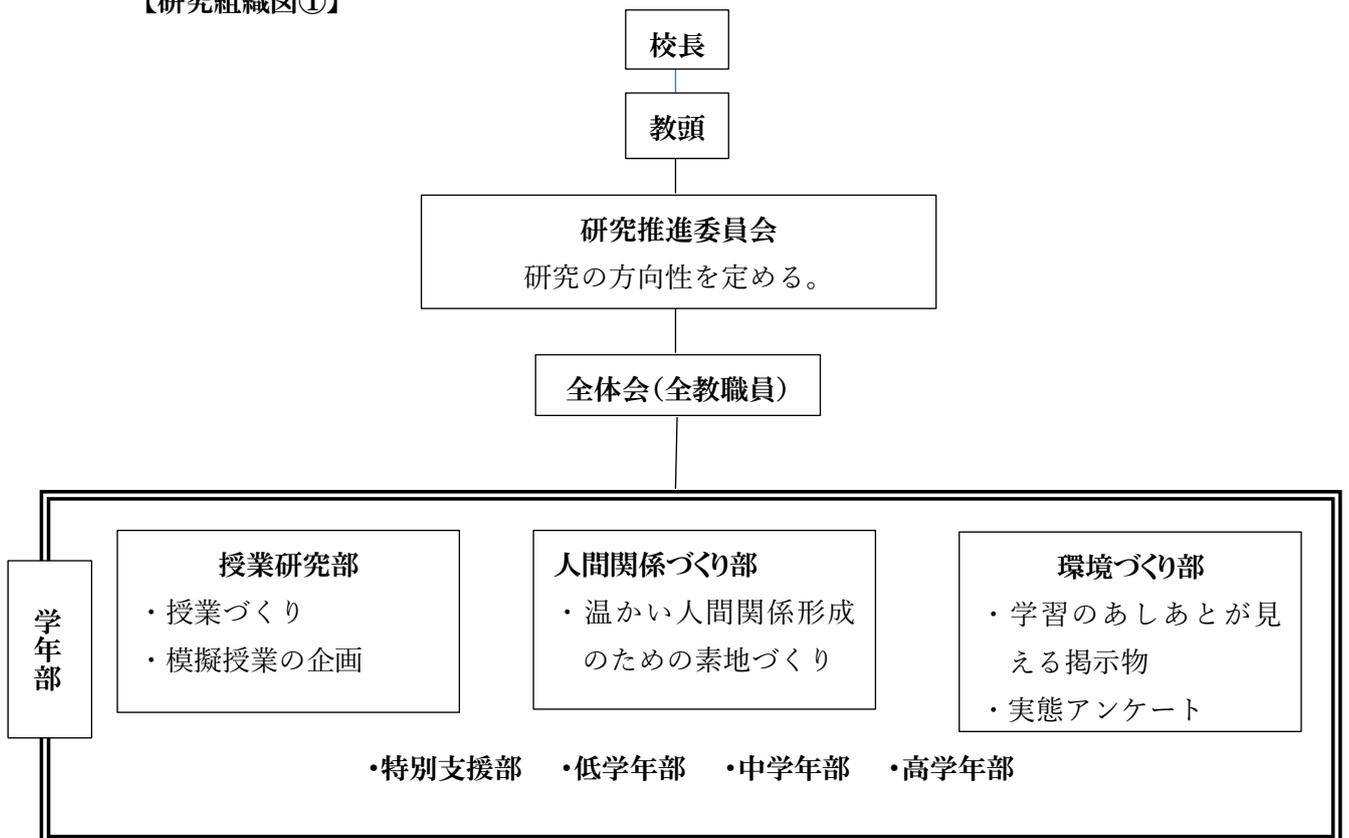
中学年	自分で決めた目標に向かって、あきらめずに粘り強くやり抜く子ども	友達のことを互いによく理解し、助け合うことのできる子ども	みんなで協力し合って楽しい学級をつくる子ども
高学年	より高い目標を立て、勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く子ども	友達と信頼し合い、お互いの違いについても理解しながら、人間関係を築いていく子ども	みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して、集団生活の充実に努める子ども
つくし	自分のやるべきことを継続して取り組む子ども	友達との違いを受け入れ、仲よくする子ども	学校の人々と関わり、学級や学校の生活を楽しむ子ども

4 研究の柱について

- ◎課題意識をもたせるための工夫(導入)
- ◎友達との関わりの中で、多面的・多角的に考えるための工夫(中心発問)
- ◎教材と自己をつなぐための工夫

5 研究組織

【研究組織図①】



今年度の組織編成

◎部長(研究推進委員) ○研究推進委員

	つくし	1年団	2年団	3年団	4年団	5年団	6年団	フリー
授業研究部			◎		○			○
人間関係づくり部	○			○		◎		
環境づくり部		◎					○	

6 今年度の予定

○ 講師依頼

IPU 環太平洋大学 次世代教育学部教育経営学科副学科長 准教授 伊住 継行 先生

月・日	研究内容
5・12(水)	第1回 校内全体研修会
6・30(水)	第2回 校内全体研修会 第4学年研究授業 授業者 第6学年研究授業 授業者 指導助言者:IPU 環太平洋大学 次世代教育学部教育経営学科副学科長 准教授 伊住 継行 先生
7・29(木)	第3回 校内全体研修会
10・27(水) ※要 調整	第4回 校内全体研修会 第1学年研究授業 授業者 第5学年研究授業 授業者 指導助言者:IPU 環太平洋大学 次世代教育学部教育経営学科副学科長 准教授 伊住 継行 先生
11月 or12月 ※要 調整	第5回 校内全体研修会 第2学年研究授業 授業者 第3学年研究授業 授業者 指導助言者:IPU 環太平洋大学 次世代教育学部教育経営学科副学科長 准教授 伊住 継行 先生